

臨床研究の実施に関する情報公開

掛川市・袋井市病院企業団立中東遠総合医療センターでは、臨床研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究課題名：当院における便潜血検査陰性者に対して施行された下部消化管内視鏡検査の現状に関する研究

実施診療科：消化器内科

研究責任者：細野功

研究期間：2022年7月19日～2025年12月31日

研究目的と意義、研究の内容：

本邦では大腸がん検診として便潜血検査が施行されており、通常2回法で陰性であれば大腸内視鏡検査が施行されることはほとんどないです。しかし実臨床では便潜血検査陰性でも腫瘍マーカー上昇や鉄欠乏性貧血等の精査を目的として大腸内視鏡検査が必要とされる場合があります。また、検診で便潜血陰性と言われていても後に別症状を契機として検診外に大腸癌が発見される(このような癌を中間期癌と呼びます)こともあり、便潜血検査にも限界があります。そこで当院において便潜血検査2回法で陰性とされている方に対して施行した大腸内視鏡検査の現状を明らかにし、中間期癌の見逃しを防ぐ方法を検討することを目的に本研究を行います。研究対象となる方は、2020年1月1日～2024年12月31日の間に当院で大腸内視鏡検査を受け、検査前の1年間に施行された便潜血検査2回法で陰性と判明している患者さんです。電子カルテや内視鏡検査データベースより患者さんの診断名、臨床情報、内視鏡所見、治療内容、臨床経過、血液検査所見を含む検査データを調査し、内視鏡検査施行理由で多いものやポリープ・癌を含めた病変の検出率などを解析します。それにより、実臨床において便潜血陰性者の中でも大腸内視鏡検査を施行すべき対象者の選定に寄与することが期待されます。

本研究はヘルシンキ宣言を遵守し、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に従って行われます。本研究は臨床研究倫理審査委員会の承認を得た後に行われ、すべての研究者は患者さんの人権、福祉および安全に最大限に確保するように努力します。患者さんから、保有する個人情報の利用停止を求められた場合には、速やかに研究から除外をいたします。その際も患者さんが不利益を被ることはありません。

※ 本研究の対象にあたる方で、ご自身のデータの利用を除外してほしいと希望される方は、下記問い合わせ先までご連絡ください。除外の申し出により不利益を被ることは一切ありません。ただし、すでにデータ化された場合は除外できませんのでご了承ください。

連絡・問い合わせ先・苦情相談窓口

中東遠総合医療センター

消化器内科 細野功

〒436-8555

静岡県掛川市菖蒲ヶ池 1 番地の 1

TEL : 0537-21-5555